

## The Whisper from Amherst

### エミリィのささやき

数号前に掲載された ‘She died at play’（彼女は遊びまわって死んだ）で始まる詩を覚えておいででしょうか。その詩の中の「彼女」とは太陽のことでした。エミリィの詩の中には太陽をテーマにしたものがいくつもあります。そのどれも太陽が擬人化され、美しく、軽やかに、そしてユーモアたっぷりに描かれています。

### ‘Blazing in Gold and quenching in Purple’

**Blazing in Gold and quenching in Purple**

金色に燃え上がり紫に沈み

**Leaping like Leopards to the Sky**

豹のように空に跳び

**Then at the feet of the old Horizon**

それから昔ながらの地平線の足もとに

**Laying her spotted Face to die**

斑点のついた顔を横たえて死に備え

**Stooping as low as the Otter’s Window**

かわうその家の窓まで低く身をかがめ

**Touching the Roof and tinting the Barn**

屋根に手をのばし納屋を色に染め

**Kissing her Bonnet to the Meadow**

牧場に向けて帽子で投げキスをし

**And the Juggler of Day is gone**

一日の魔術師は行ってしまった

( 岩波文庫「対訳 ディキンソン詩集」亀井俊介 編 より)